

盛りだくさんの活動があった9月ですが、きびしい残暑のなかがんばってくださったスタッフの皆さま、お疲れ様でした。久しぶりの台風直撃のなか、この原稿を書いています。台風が通り過ぎるといよいよ秋ですね。

お知らせ

- ・ アメニティ・アカデミー 第Ⅱ期セミナー第1回 10月13日(土) 草志舎
- ・ ヴォーリズ建築文化全国ネットワーク全国大会 10月21日(日) 関西学院
- ・ 町並み研究会 10月25日(木)～27日(土) 東北
- ・ こだわり工房ほりだし市 11月3日(土・祝) 草志舎
- ・ アメニティ・アカデミー 第Ⅱ期セミナー第2回 11月10日(土) 草志舎
- ・ ヴォーリズ六甲山荘一般公開最終日 11月18日(日)
- ・ ヴォーリズ六甲山荘大掃除&暖炉とワインを楽しむ会 11月23日(金・祝)
- ・ 町並み研究会アンコール企画 12月1日(土) 京都

予告1 <アメニティ・アカデミー> セミナー「読み解く心を育む」開講

アメニティ・アカデミーの第Ⅱ期のセミナーは当協会の理事、監事の方々を講師にお招きして、「読み解く心を育む」というテーマで、第一線で活躍しておられるそれぞれのお仕事から見える文化や社会の姿について、お話しを伺います。お話のあとは講師を囲んで懇談の時間ももうけます。得がたいこの機会にぜひご参加ください。

- 第1回 **10月13日(土)** 講師：宮田満雄(理事、元関西学院院長) 「私の受けてきた教育」
 第2回 **11月10日(土)** 講師：畑儀文(理事、音楽家) 「童謡を創った人々」
 第3回 **12月8日(土)** 講師：正司泰一郎(理事、元宝塚市長) 「美しい建築物」
 第4回 **2月9日(土)** 講師：山田康子(監事、弁護士) 「結婚・離婚の境界から」
 第5回 **3月9日(土)** 講師：島田恒(監事、経営学者) 「NPOが拓く社会」

受講料：第2期5回分 会員7,500円 一般10,000円

一部参加 1回 会員2,000円 一般2,500円

会場：草志舎 定員：30名(定員に達し次第締切ます)

予告2 こだわり工房ほりだし市

日時 **2011年11月3日(土・祝)** 場所 草志舎

会場には会員の手作り品や有機農家会員の生産品、協会の趣旨に賛同するグループの作品などが並びます。

あたたかい雰囲気の良いほりだし市です。おいしいお昼ごはん、喫茶も用意いたします。

また昨年に続いて東日本大震災の被災者支援として被災地の物産を販売します。

大勢の方に来ていただけるよう、お知り合いにお声をおかけください。

田尻洋一ピアノリサイタル at 大阪倶楽部のご案内

神戸生まれで世界的なピアニスト田尻洋一のリサイタルがつぎのように開かれます。

日時 **2012年10月26日(金) 昼の部15時 夜の部19時**

場所 大阪倶楽部(大阪府中央区今橋4丁目4-1)

入場料 昼・夜 各部2500円 昼夜2回通し 3500円

このリサイタルは会員の鈴木光雄さんが実行委員として企画されました。コンサートの収益はアメニティ2000協会に寄付されます。どうぞふるってご参加ください。

お申し込み・問い合わせ先 鈴木光雄 TEL/FAX 0798-65-8445

***田尻洋一**：桐朋学園大学卒。渡欧し天才イディル・ピレット女史の唯一の弟子となる。

「心から心へ」をモットーとした芸術性の高い演奏活動を国内外で展開。

***大阪倶楽部**：安井武雄設計、大正13年(1924年)築。国登録有形文化財。



【コラム】

ヴォーリズ六甲山荘の庭

鈴木 光雄

ヴォーリズ六甲山荘は、いろんな雑木をサッパリ切って素晴らしい庭が良くなった。4年前は、久しく手の入っていない1,700坪の敷地は、松・杉・桜・楓などの大木に混ざって、実生から無秩序に成長した樗や馬酔木などが密林をなし、鬱蒼と茂り陽が入らないので、紫陽花なども消えて、湿気が建物には良くなかった。北面の庭や斜面は、小寺家別荘が建てた境界敷地に杉を立て込んで、15mも高くびっしりと防風になったが、視界が邪魔で唐櫃方の灯も見えない。130年ぐらいの巨大老松が、屋根に回遊路を作ったりするので専門業者が切ったり、スタッフが間伐・枝打ち・枝葉の絡み合ったのを払ったり、遠く夕陽に輝く加古川の池や、播磨灘の家島が見えるようになった。散策、花壇を沢山手入れしたり、池を作ったり、猪の柵を良くなったり・・・、斜面に利用したギリシャ風の野外円形劇場も作った。近くの山荘が改築する不要な楕円テーブルを持ってきて、昼食や茶会に呼んだり、小丘に卓、椅子や日傘を置いたりした。

六甲山 ヴォーリズ山荘 木陰では

いろいろ鳥が 啼く声聞ける

本を読んだり 昼寝もいいな

前は冬の間、猪が無残に苗を掘り返して、針金ワイヤーの柵をくぐって庭に入るので、柵に枝木を積んだら今年は来なかったが、池のメダカはいなかった。

アライグマ 六甲山荘 庭にいて

池のメダカは 全部捕ったか

ヴォーリズ山荘の庭は本当に良くなった。

(鈴木光雄さんは六甲山荘の購入以前から山荘の維持管理に全力を注いでこられました。その後体調をくずされて活動から遠ざかっておられましたが、この夏久しぶりに山荘を訪問されました。)

予告3

町並み研究会～旅のチカラで東北を元気に～

東日本大震災以来アメニティ 2000 協会は被災者支援活動を展開していますが、一度被災地を訪問したいという希望から今回の企画となりました。石巻市では復興しつつある商店街を地元の方の案内でまわります。地元の物産をお買い物。ささやかではありますが、産業復興に貢献しましょう。

喜多方が蔵の町であることは有名ですが、山形市も会津若松も歴史を語る建築がたくさん残っています。それらを訪ねて、懐の深い街の歴史をあげましょう。

秋は紅葉で東北がもっとも美しく装う季節。担当の谷本さんが現地にも何度も確認して、見頃の時期を選びました。復興の姿、歴史、錦繡をたどる旅にぜひ一緒しましょう。

月日 10月25日(木)～27日(土) 2泊3日

参加費 会員 50,000円 一般 55,000円 定員 25名

ご報告1 益子陶芸作品展示即売会 9月1日(土)～3日(月) 草志舎

大変盛況の3日間でした。初日と2日目はオープンと同時に大勢のお客が来られて、品物はあっという間に売れていきました。益子の作家さんたちが寄付してくださった作品は340点あまりですが、すべて市価の半値とあって、完売しました。お客様からは寄付もいただき、益子参考館の復興基金には495,000円を送金することができました。お買い上げくださった皆さま、スタッフの皆さま、ありがとうございました。



ご報告2 アメニティ・アカデミー 第I期セミナー第5回 9月8日(土) 関西学院

第I期セミナーの最終回です。関西学院の外国人住宅について調査結果をふまえて報告がありました。アンケートにはステップアップ講座があるならぜひ受講したいという声がありました。



◀お薦めの本▶

湯本香樹実著 「夏の庭」

石川玲子

男の子って探検ごっこやお化けの話が大好きですね。この物語も夏休み前に小学6年生の男の子三人組の一人が田舎のお祖母さんのお葬式へ行って「人が死ぬ」ことに好奇心を掻き立てられたことから始まります。そして近所のゴミ屋敷に住む 今にも死にそうなお爺さんが実際に「死ぬ」ところを見ようと偵察を始めるのです。加齢と孤独で衰弱していたお爺さんはコソコソつきまとう少年たちを追い払おうとするのですが、そのうち彼らとの駆け引きが面白くなってきて、予想に反して元気になっていきます。もともとこの三人は、現代の家庭によくある 親たちの勝手な問題のせいで自分では解決できない悩みや不安を抱えていました。それがお爺さんに取り込まれて用事を手伝い、荒れた庭に花の種を蒔き、意のままにならなかったお爺さんの人生や凄惨な戦争体験を聞いたりするうちに 世代を超えての信頼とお互いを思いやる心が育っていきます。夏休みが終わる頃 サッカーの合宿中にお爺さんは独りで亡くなってしまい、死んだ人を見るという少年たちの目的は達成されるのですが、予想もしていなかった大きな喪失感に打ちのめされます。お爺さんとの交わりの中で 大切な人でも喪う時があること、それでも精一杯生きること、さまざまな経験が力になることなどを学んだ少年たちは しっかりと大人への一步を踏み出します。「オレたち、あの世に知り合いが出来たってすごく心強いことだよ」と言いながら。

少年たちの清々しい成長物語として書かれている本ですが、私たちがいま直面している無縁社会、イジメ自殺、引きこもりなどの問題を考えるとき お爺さんと少年たちが過ごしたような場所を作ることも解決策の一つになるのではないかと思います。 味わい深い読後感とともに未来への希望を感じさせる一冊です。 (新潮文庫)

ご報告3 コウノトリの郷との交流 9月15日(土) 豊岡

晴天にめぐまれ、稲刈りをしていると暑いくらいでした。黄金色に実ったイネの穂をカマで刈り取るのは腰がいたくなりますが、楽しい作業です。もっとやりたかったという声もありました。

参加者：磯村幹夫、植村孝一、植村真美、植村ご家族、金井直世、清水彬久、清水順子、中島紘、中島ご家族、稲垣馨



ご報告4 園遊会 9月29日(土) ヴォーリス六甲山荘

気持のいい半日でした。久しぶりのQ J Qカルテットの楽しいジャズライブ、石窯も好調でおいしいピザが焼けました。

スタッフもゆっくりランチをいただきライブを楽しめました。なんと翌日には台風来襲で山荘は閉鎖！1日違いでよかったです。来場者

スタッフ：加藤純子、金井直世、口丸弘子、高崎あき子、清水彬久、清水順子、辰馬敏子、谷本雅憲、碓田晴紀子、福富牧子、森正人、森田和子、八尾佳子、山崎忠厚、山崎富美子、吉田敬子



◇◆◇おしゃべりアラカルト◇◆◇

アメニティ・アカデミー 第5回

「関西学院の住宅建築を中心に」に参加して

白石清子

4月草志舎で開かれた第1回セミナーから、神戸女学院、大阪教会、ヴォーリス六甲山荘と場所を移しながら、山形政昭先生と石田忠範先生のすばらしい講義に時の経つのも忘れて聞き入った。

9月8日最終回は関西学院の住宅建築を中心にお話を伺った。関西学院には過去何度も足を運んだことがあるが、キャンパスの東端に建つ外国人住宅を拝見するのは初めてのことだった。

1929年上ヶ原キャンパスの創建当時には10棟あった住宅も今は9棟となっているが、どれもよく保存されて、高い木立の中に美しい姿を残している。ヴォーリスとも親交のあった関西学院第4代院長ベーツ先生が実

際に住居として使われていたとのことで、お名前だけは知っていた院長が急に身近に感じられた。現在も迎賓館白として使用されている建物は中流洋風住宅の原点となっている。

1階約50坪、1-2階合わせると95坪、庭は200坪。玄関のレンガ積みポーチ、素敵な床のタイル、ゆったりした備え付けの腰掛。階段ホールには大きな窓があり光が十分に取り入れられている。

暖炉のある広々とした居心地のいいリビングには30人ぐらいのお客様が歓談することができただろう。隣のダイニングルームには暖炉とその対面にコーナーを利用した素敵なカップボードが備えられている。台所には米櫃まで設計されていた。また食材保管のために床下の冷たい空気を上に引いてくるという工夫もされている。

ヴォーリスの建築をいくつか見学していつも感じ入るのはヴォーリスがそこに住む人の立場に立って、いかに

心地よく快適に生活できるかということに心を砕いたことである。

神戸女学院の見学の時にも石田先生から教えていただいたヴォーリズ的设计者としての言葉「もしもこの建築が真に成功したとすれば、その最も重要な機能の一つは永年の間に人々の心の内部に洗練された趣味と共に美の観念を啓発する事ではなければならない。」

神戸女学院に学び、関西学院の時計台にあこがれ、そして今アムニティ2000協会という素晴らしい会に参

加させていただいていることは、何か目に見えない糸で導かれてきたような不思議な感慨をおぼえる。

有意義なセミナーに参加させていただいたことを心より感謝いたします。

関西学院図書館



ほりだし市への出品のお願い

皆さんの出品、準備と当日のスタッフを募集しています。応募いただける方は同封の用紙、あるいはメールでお知らせください。

- ・てづくり品・手芸品、カード、絵はがき、などなど
 - ・食品・総菜、ケーキ、パンなど
 - ・アクセサリ（新品かそれに近いもの）、ブランドバッグ、ブランド食器・リサイクルします
- 沢山の品物が集まりますよう、お待ちしております。

<神戸ワーキングホリデー（8月）の感想文が参加した学生さんたちから届きました。少しずつご紹介していきます。>

「神戸ワーキングホリデーに参加して」

被災学生（大学4年生）

私は、神戸ワーキングホリデーに参加するにあたって、神戸が阪神淡路大震災からどのように立ち直ったのか、そこから福島の復興に役立てられることはないかを学びたいと思っていた。

神戸の街を見学したり、神戸のみなさんと接していて復興に一番必要なのは「あきらめない」ことだと強く感じた。私自身、原発事故の影響がある限り福島はどうすることもできないとどこかあきらめていた部分があった。しかし、神戸の方たちはあきらめずに前を向いて復興を目指したから今の神戸があるのだと思い、自分にできることから福島の復興のために行動を起こしていきたいと考えようになった。

原発事故、放射能の影響などについて話をしたときに福島の方たちは農産物が売れずに困っているという話があった。検査をして安全が確認されていてもそれを多くの人にPRしなければ売り上げにはつながらない。大学に戻ってから、農家さんの支援するにはどうすればいいか相談してみた。すると、独自に大学に農産物の検査を依頼に来られる農家さんがいらっしやるとのことだった。まだ構想中の段階だが、仲間を集めてそういった農家さんの農産物をPRしていくような活動がしたいと思っている。

そして、原発の問題について福島の事故をきっかけに多くの方が考えるようになったと思う。日本各地に原発があり、これから再稼働がされていくのかまだ分からない状況だが、一度事故が起ってしまうと平穏な日常は取り戻せないと思う。終の棲家だと思っていた我が家を離れざるを得なくなった祖父や祖母を見ているとやりきれない思いでいっぱいになる。これ以上、日本で原発事故による被災者を出してはならないと思う。そのためにどうすればいいのか、日本の国民として日々考えていきたい。

また今回、いろいろと体験もさせていただいた。ベンガラ塗りはとても楽しみにしていたことだった。みんなで楽しくできてよかったが、完成するまで時間がかかることを知り、自分たちだけでは最後までできず少し心残りだった。

川上牧師とお会いできたことも嬉しかった。「までの歌」は福島に帰ってきてから飯館村出身の友人に紹介したら、関西の人も飯館村を応援してくれていることが嬉しいと言っていた。

私自身、応援してくれている人がたくさんいるんだということが嬉しかったし、それに答えられるように頑張っていきたい。

最後に、今回このような貴重な体験をさせていただいたことに前田先生はじめ多くのみなさんにお礼申し上げます。本当にありがとうございました。摩呂子さんと作ったハートがたくさんの人たちに愛を幸せを運んでくれますように。

摩呂子さんとつくったハート→



2012年度助成金への応募

当協会の助成事業への応募を募集しています。

- ・ 対象 会員および会員に属する団体
- ・ 活動 定款に定める活動
- ・ 助成額 最高10万円
- ・ 申請締切り 10月15日

自薦または他薦でどうぞお申し込みください。

10月の理事会で審査・決定いたします。

詳しくは同封の応募用紙またはホームページをごらんください。

「ヴォーリズ六甲山荘物語」をどうぞ

もう「ヴォーリズ六甲山荘物語」をお読みにになりましたか？山荘の歴史、アメニティ2000協会が購入するに至ったいきさつ、山荘に関わる人々など、読み物としても楽しい内容が盛りだくさんです。ヴォーリズ六甲山荘は当協会の大事な資産、その資産を語るこの一冊をぜひお手元においてください。

会員価格 800円 お申し込みは事務局まで。

六甲山荘たより

9月の六甲山荘

前半は残暑が続きましたが、後半はすっかり秋となり、白の水引草が咲き乱れています。

29日には園遊会、30日は台風のため臨時休館と、あわただしい月末でした。なお台風の翌日山荘へ行ってきましたが、倒木や建物の被害はなく、無事でした。ご安心ください。

今年度の**一般公開は11月18日(日)が最終**です。そのあと11月23日(金・祝)に大掃除とうちあげをいたします。詳細はおってご案内いたします。



豊岡の空を舞うコウノトリ

ヴォーリズ六甲山荘の花～ツルリンドウ

その名のとおりツル性のリントウ科の植物。とはいえ、ツルはせいぜい1メートルで、地上を這ったり低い植物に巻きついたりしている。

8月から10月にかけて薄紫の可憐な花を咲かせ、秋の到来を告げてくれる。

秋の終わりに美しい赤い実をつける。



写真・岡本正美